



「だんだん」 ゆるやか女性相談室だより

No.4

リプロダクティブヘルス／ライツ「自分で自分の生き方を決める」ということ。

「子どもを持ちたい」それとも「持たなくてもいい」と思いますか？もし、予期せず妊娠してしまったり、性感染症にかかってしまったりしたら……。望んでいるのに子どもを授からなかったら……。

リプロダクティブヘルス／ライツは、日本語では「性と生殖に関する健康／権利」と訳され、1994年にカイロで開催された国連会議で提唱された権利です。人々が差別や強要がなく、もちろん暴力もなく、全ての人々が自分たちにとっての子どもの数や出産の間隔・時期について責任を持ち自由な意思で決め、そのために必要な情報や手段を取得することができる基本的な権利です。

歴史的・社会的に女性が性生活や妊娠・出産、自身の健康に対して十分に決定権を行使できませんでした。戦時下の日本でとられた「産めよ、殖やせよ」という人口政策や「子どもを産み育てるのは女性の役割」というこれまでの社会通念により、性と生殖に対する個人の自己決定権は政治的・社会的に阻害されてきました。

性と生殖に関連する健康および生命の安全について、女性が持つライフサイクルを通じて、それを権利とみなそうというものです。「私の体は私のもの」「産む・産まないは女性の自己決定」。リプロダクティブヘルス／ライツが示している権利を獲得することは、女性が安心して子どもを産むことができる社会や、産みたいと思う社会を創造していくためのものと言えます。

日本では、1999年に低用量経口避妊薬の解禁が行われたことにより、女性に、いつ、何人、子どもを出産するかどうかについて、自己決定権がみとめられるような形になりました。また、近年、医療の進歩により、子どもを希望してもかなわないカップルに様々な選択肢が増えてきました。

性と生殖に関する男女平等である、リプロダクティブヘルス／ライツは、性別に関わらず、一人ひとりの個性や能力を大切に「男女共同参画」にとって大切なことです。

～「ゆるやかカフェ」～

<3月の開催日>

★3月18日（木）10:00～12:00

<場所> うきは市男女共同参画センター
(市民センター2階和室)

生後4カ月～就学前幼児無料託児あり
※3日前までに要予約



ひとりでのんびりされたい方は、
図書館で過ごしたり、
お買い物に行かれたりしても大丈夫です。
その間、お子さまをお預かりします。

●問合せ うきは市男女共同参画センター ☎77-2661 E-mail woman@city.ukiha.lg.jp
開館時間 9:00～17:00 【休館日 水・日・祝日・年末年始】

うきは防災だより

地震対策の裏技

火の始末

グラッと来たら、まず「身の安全」

揺れがおさまったら「火の元確認」

出火したときは「落ち着いて消火」

～「電気火災」とは～

電気ストーブなどの“発熱器具”にタオルなどの燃えやすい物が落ちたり、落下物で電気器具のスイッチが入ったりして出火したりします。

～「通電火災」とは～

停電となったため「電源が入ったままの状態」で避難し、送電再開時に火災が発生します。

対策は？

- 1 スイッチを切る
- 2 コンセントからプラグを抜く
- 3 ブレーカーを切る



防災カフェ営業中

珈琲を飲みながら「防災」を話しませんか

日時：3月19日（金）13:30～15:00

場所：御幸コミュニティーセンター 2階

メインテーマ「地震対策の裏技」



- ◆飛散防止フィルムの実演
- ◆みんなで防災トーク
- ◆防災なんでも相談

珈琲は無料です。

毎月第3金曜日 13:30～15:00

今回は4月16日（金）にるり色ふるさと館で開催します。



●問合せ 市民協働推進課 ☎75-4982／防災ネットワーク・うきは ☎090-4985-1124